

# 健康寿命を延ばすためのアンケート調査結果

## —足腰に痛みをもつ高齢者の主観的健康感を高める要因—

調査の概要は以下のとおりです。

### 1) 調査目的

今回、足腰に痛みを抱える方の、主観的健康感を高める社会活動参加やセルフケアについて調査いたしました。主観的健康感とは自分自身の健康状態の感じ方で、病気の有無や検査値だけでなく、社会とのかかわりやセルフケアにも影響されることがわかっています。わが国では健康寿命の延伸が課題となっていますが、主観的健康感は健康寿命に影響するといわれております。主観的健康感を高める社会活動やセルフケアがわかることで、足腰に痛みを抱える高齢者の方の主観的健康感を高め、ひいては健康寿命の延伸に繋がる支援を目指したいと考えました。

### 2) 調査期間

平成 29 年 3 月 8 日（水）～3 月 31 日（金）

### 3) 調査対象

可児市にお住まいの 65 歳以上の方 1,300 人

### 4) 調査方法

住民基本台帳より 1,300 人を無作為抽出し調査票を郵送。記入後返送をしてもらった。

### 5) 回収状況

発送数	回収数（回収率）	無効数	有効回収数（有効回収率）
1,300	818（62.9%）	16	802（61.7%）

\*無効は足腰痛の有無、または主観的健康感が無回答

### 6) 調査主体

岐阜医療科学大学（協力：可児市役所）